

事務記入欄	: 必ず記入が必要な項目	: 記入情報がない場合でも、「特になし」等何らかの記載を必要とする
	: 記入情報がない場合でも、項目名(見出し)は表示する	: 記入情報がない場合は、項目名(見出し)も表示しない

平成26(2014)年度 Syllabus (講義概要・授業計画) 用紙

管理番号: G140513200

科目名	教養教育科目特別講義B(西洋近現代史入門)	サブタイトル	何のために西洋史を学ぶのか
対象学部	社会学部, 国際文化学部, 理工学部		
開講曜講時	前期 水4	配当年次	1年次~4年次
開講キャンパス	瀬田	担当者(カナ氏名)	フクダ ヒロシ
単位	2	担当者(漢字氏名)	福田 宏
備考	【注意】教養教育科目特別講義A~Gのうち、卒業要件単位として認めるのは、4科目8単位まで。		

講義概要

サブタイトル 【入力属性: 】 【学外公開】	何のために西洋史を学ぶのか				
講義概要 【入力属性: 】 【学外公開】	私たちはなぜ歴史を学ぶのだろうか? なぜ西洋なのか? 1990年代以降、私たちの歴史観は大きく変わってしまったが、それに代わるものが見いだせているわけではない。(日本で使われている)世界史の教科書でも、基本的に西洋、特にヨーロッパをモデルとして書かれていたが、現在では、その前提が揺らいでいる。この授業では、ヨーロッパ近現代史を取り上げ、ヨーロッパの何がモデルとされ、何が問題点となっているのかを考えてみたい。その際、日本の歴史も参照しつつ、私たちがどのように「近代」を捉えてきたかについても考察する。				
到達目標 【入力属性: 】 【学外公開】	社会が不安定化したり、先行きが不透明になったりする時代には、歴史もまた不安定化する。過去をどう捉えるかという問題は、現在をどう捉えるかという点にも直結する。この講義では、歴史を柔軟に捉える習慣を身につけたい。				
講義方法 【入力属性: 】 【学外公開】	講義形式。授業の際に毎回プリントを配布する。配付資料についてはウェブよりダウンロードできるようにする。				
授業時間外における予・復習等の指示 【入力属性: 】 【学外公開】	価値観が異なる地域の歴史を学ぶためには、映画や小説などによって人々の生活が見える「資料」に触れることも必要である。可能であれば、実際にその地域を訪れてみることも良い経験になる。受講に当たっては、授業で配布する文献一覧などを元に、可能な限り広い範囲の「資料」に触れるようにして欲しい。				
系統的履修 【入力属性: 】 【学外公開】					
成績評価の方法 【入力属性: 】 【学外公開】	種別	割合	評価基準・その他備考		
	平常点	20%	出席は義務ではないが、各授業の最後に提出して頂く感想・コメントについては平常点として考慮する。		
	小テスト				
	レポート				
	定期試験	80%			
	その他				
テキスト 【入力属性: 】 【学外公開】	著書・編集者名	書名	出版社名	定価	ISBN
	小山哲他編	大学で学ぶ西洋史	ミネルヴァ書房	2,800円	9784623059386
	自由記載	テキストの購入は義務ではないが、高校で世界史を履修しなかった方、世界史をもう一度勉強し直してみたいという方には、本書をお薦めする。また、関心のあるテーマについては、授業で紹介する文献・ウェブサイトを図書館やコンピューターで確認し、各自の関心を広げていくようにして欲しい。			
参考文献 【入力属性: 】 【学外公開】	著書・編集者名	書名	出版社名	定価	ISBN
	自由記載				
履修上の注意・担当者からの一言 【入力属性: 】 【学外公開】					
オフィスアワー・教員との連絡方法 【入力属性: 】	質問については、授業後、あるいはメール(hfukuda@cias.kyoto-u.ac.jp)にて受け付ける。				
参考URL 【入力属性: 】	参考URL名	参考URL	参考URL名	参考URL	

科目名	教養教育科目特別講義 B (西洋近現代史入門)	サブタイトル	何のために西洋史を学ぶのか
対象学部	社会学部, 国際文化学部, 理工学部		
開講曜講時	前期 水 4	配当年次	1年次~4年次
開講キャンパス	瀬田	担当者(カナ氏名)	フクダ ヒロシ
単位	2	担当者(漢字氏名)	福田 宏
備考	【注意】教養教育科目特別講義 A~Gのうち、卒業要件単位として認めるのは、4科目8単位まで。		

講義計画				
No.	回数 【入力属性:】 【学外公開】	担当者 【入力属性:】 【学外公開】	学修内容 【入力属性:】 【学外公開】	キーワード 【入力属性:】
1	1回目	福田 宏	はじめに 西洋近現代史を学ぶということ	
2	2回目	福田 宏	回転ではなく革命を フランス革命と近代	
3	3回目	福田 宏	ドイツ型ナショナリズムの誕生 遅れてきた国民?	
4	4回目	福田 宏	イギリス帝国と植民地世界	
5	5回目	福田 宏	ロシアとトルコにとってのヨーロッパ	
6	6回目	福田 宏	日本帝国の台頭 西洋とアジアの間	
7	7回目	福田 宏	音楽とナショナリズム 文化の政治性	
8	8回目	福田 宏	ハプスブルク帝国は民族共存のモデル?	
9	9回目	福田 宏	近代オリンピック スポーツと国民国家	
10	10回目	福田 宏	百年前の第一次世界大戦は何をもたらしたか?	
11	11回目	福田 宏	西洋の没落? ファシズムとナチズムの台頭	
12	12回目	福田 宏	大国としてのアメリカ フォードの素晴らしき世界	
13	13回目	福田 宏	第二次世界大戦とヨーロッパ統合	
14	14回目	福田 宏	1968年と1989年 現代社会の変容	
15	15回目	福田 宏	おわりに 新しい世界史は可能か	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				